

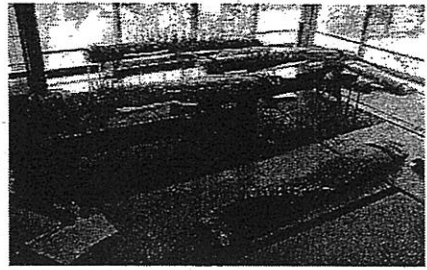
こんな事業を行いました！

茶室福庵でおもてなし

「〜等で奏でる初春の調べ〜」
実施日：1月27日

講師：等演奏グループ「春宵」
参加者数：25人

和の空間での等の演奏は、茶室を優雅な雰囲気にし、お正月気分を思い起こさせるものでした。



会場いっぱいの参加者、目の前で奏でる等の旋律が、体中に響きました。春宵の皆さんも「お客さんの至近距離で演奏することは珍しいが、この距離感と茶室の空間がとても気に入った。」とお話されていました。

本事業は茶室を茶道の場として使用することに加え、福生ならではの和の空間、和文化に触れる場として活用していくことを考え実施しているものです。今後も見学や鑑賞をとおして「和文化」を学習する機会としていきたいと思っています。

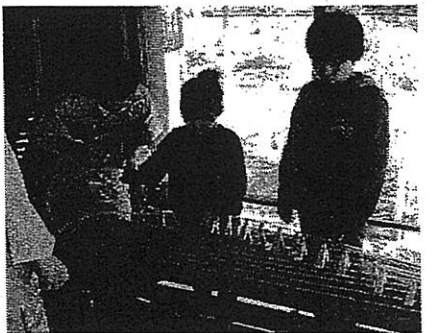
参加者の声

・等の音色を久しぶりに堪能しました。素晴らしい演奏とトークをありがとうございました！
・近くで聞くことができ、良い体験ができた。初めて等にふれることができて良かった。
・福生市に12年間住んでいますが、福庵に初めておじゃましました。とても良い茶室なので、多くの方に広めたらよいと思います。特に、外国人の方に2020オリンピック

に向け、何か計画していただけたらと思います。
・花さき山のよつなやの方は、初めてです。園児にも聞かせたあげたいです。
・語りが入るの、初めてでしたが、すごくよかったです(花さき山)。伝統的なものも、新しいものも、みんなステキでした。外の景色もよく、ステキな音と一緒に楽しめました。
・他の和楽器、いろいろ踊り、又、落語講演など、もっとたくさんお願いします。



▲大型絵本を使った演奏(花さき山)



▲即興で一曲。等の演奏体験

●春宵●

日本の伝統和楽器奏者を育成する為の『NHK 邦楽技能者育成会』を通じて結成し、今年で21年目を迎える等アンサンブルです。

日頃はそれぞれに演奏者や指導者として活動をし、年数回のアンサンブル活動などを行っております。

「〜春宵一刻値千金〜幾千の財宝に匹敵するほどの春の夜のひと時をお届けしたい」という思いで命名いたしました。

(春宵プロフィールより)

地域福祉講座「知らないと損する医療制度のお話」

実施日：2月7日・14日・21日

講師：萬沢明氏・萬沢せつ子氏

参加者数：延べ37人

参加者の声

坂本乃一さん

2年前に福祉に携わる業務を担当することになりましたが、どこから手を付けて良いものか思案していたところ、公民館職員の方から講座に参加してみないかと声をかけられたのが、この地域福祉講座です。

今回は「知らないと損する医療制度のお話」というテーマで、診療報酬や自己負担の仕組みが医療費の増大を招いている一因であることなど、改めて制度の問題点を知ることができました。また、住み慣れた地域で暮らし続けるため、今後、医療との更なる連携が必要とされている介護保険の制度についても、国が

ら示されている地域包括ケアシステムなどの話を交えて、「地域」に求められている役割についても学ぶことができました。

高齢者の方の医療や介護に限らず、障害のある方や小さいお子さんに関わることなど、多岐にわたる様々な課題や問題解決の担い手として、「地域」とそこに生活する人たちの力が、今までの以上に必要になってくるのではないかと、強く感じさせられました。

とかく「福祉」というテーマは、身近にある問題にも関わらず、イメージや先入観から敬遠される傾向もあります。

公民館の講座においても、場の雰囲気や重たくなり、参加者も硬くなってしまいがちのように思えますが、この講座では講師の方が参加者に対して、貴重な資料をもとに丁寧に解説してくれたことで、「福祉」に対するネガティブな感情が払拭された

ように思いました。

また、担当した職員の方の、時に実体験を交えた参加者目線での発言が、参加者の発言を呼び込み、活発なコミュニケーションが交わされ、大変有意義な講座になっていったと感じました。

この講座で得た知識を参加者が地域に持ち帰り、地域の講師として周囲の方々に還元することで、より多くの市民に制度や仕組みへの理解が深まるのではないかと思います。

今後も地域課題をテーマに、公民館講座が開催されていくことを期待しています。



▲講座参加者の様子



▲講師の萬沢明氏(左)とせつ子氏